

中田小



これがイチオシ

ヒーローが守っている

中田小学校には、「なかいいんジャー」というキャラクターがいます。中田小学校のいじめ防止のために生まれたヒーローです。

元気レッドは、いつも明るく元気な性格で、活気のある学校にしてくれます。思いやりブルーは、誰よりも優しく、けんかがあったときに駆け付けます。お助けイエローは、仲間外れを許さず、困っている人の元に現れます。

なかいいんジャーは、中田小学校のみんなのヒーローで学校全体を見守っています。

学校名 仙台市立中田小学校
所在地 仙台市太白区中田4の1の1
創立 1872年
電話 022(241)2610
校長 菅野 拓生
生徒 568人

いじめ防止、分かりやすく

なかいいん集会では、計画委員が学校生活をより良くするための劇を演じたり、各クラスの代表が「自分のクラスでは仲

良くするための○○な取り組みをしています」という行動目標を発表したりします。

ほかに、いじめに関する○×クイズを出題して、いじめについて考えたり、話し合ったりする機会を設けています。

全校でなかいいん集会



ステージで学校生活をより良くするための劇を演じる計画委員

編集委員 田面木壮真、遠藤久人、猪俣美優、守優菜、菅野暖人、橋本結衣（6年）生島明依、田村秀虎、小山新太（3月卒業）
指導教員 西沢祐太、飯野広大、水戸花和（転任）

わが校わがまち スクール通信



次回は
大街道小（石巻市）
南光台小（仙台市）

海中レストラなど提案

汐見小



これがイチオシ

ダーツクラブ 普及に力

汐見小学校では、2024年度に県内の公立小学校初の「ダーツクラブ」が誕生しました。とても人気で、4年生から6年生までの男女26名で和気あいあいと活動しています。

七ヶ浜町は「ダーツの町」で、「アロープログラム」の方々がダーツの普及活動をしています。クラブ活動の時間に、やり方を教えてもらったり、一緒にチーム戦をしたりしています。

毎年町主催のダーツ大会があるので、積極的に参加して今後も汐見小ダーツクラブを盛り上げていきたいです！

学校名 七ヶ浜町立汐見小学校
所在地 宮城県七ヶ浜町汐見台3の1の3
創立 1980年
電話 022(357)5151
校長 沢田 茂実
児童 323人

将来の七ヶ浜町、議会に

汐見小学校では、ボランティアの方々が私たちの活動をサポートしてくれています。1年生は生活科「秋探し」「昔遊び」、2年生は校外学習「町探検」、3年生は「習字」、4年生は「防災マップ作り」、5年生は「田植え・稲刈り体験」、6年生は「トートバッグ作り」に取り組み、どの先生もやさしく分かりやすく教えてくれます。

毎週水曜日には「本の読み聞かせ」があります。登下校時には、いろいろなところで見守ってくれ



「将来の七ヶ浜町」のプレゼンテーションの様子

編集委員 伊藤友美歌、落合勇人、小西陽貴、関渚、山下莉瑚、黒沢明莉、小林奈々美、齋藤和優、水島陸（3月卒業）
指導教員 齋藤美智子、内海貴洋

来七ヶ浜町のプレゼンテーションを聞きに来てくれました。「海中レストラを作ること」「オンライン診療アプリの実現」「高校をつくること」「学区ごとに自習室をつくること」という提案を真剣に聞いてくださり、温かい励ましのコメントをいただきました。私たち汐見つ子は、これからたくさんの方々のいろいろなことを学び、生活に生かしていきたいです！

よき友との出会いと別れ

冬の寒い季節に雪の中で育った野菜は、甘くておいしくなることを知っていますか。はくさいぼうやは、小さな芽からどんどん葉っぱを広げて大きくなり、冬には立派な白菜になります。

初めは、はくさいぼうやのことがおいしそうに見えていたねずみくんですが、かけがえのない「ともだち」になるのです。春になるころ、はくさいぼうやは野菜としての役目を果たすた

めに、ねずみくんとお別れするときにやってきます。励まし合って、勇気や元気をもらえるやさしい友達に出会えることは、すてきなことです。野菜と動物は、見た目も暮らし方も違いますが、友達になって、相手を大切にすると気持ちはずいぶん違ってきます。この本を読んだ後、友達や家族など大切な人を思い出してみてください。小学校低学年から。（宮城県図書館 藤田寛子さん）

はくさいぼうやとねずみくん

堀米 薫 ぶん
こがしわ かおり え
新日本出版社

本のプロ 推しの一冊



独の観衆の心揺さぶる

NEWS ニュース アラカルト

世界の名門オーケストラの一つ、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団の定期公演に3月20日、日本人バイオリニストのHIMARIさん(13)がソリストとして初出演しました。高い技術で表現力豊かな演奏を披露し、会場は拍手に包まれました。

13歳のバイオリニストHIMARI

ベルリン・フィルとの共演が夢だったというHIMARIさんは演奏後、「たくさん練習して準備したので、緊張せず自信を持って思い通りの演奏ができた」とにっこり。観客の一人は「すばらしいの一言。感動して、心が揺さぶられた」と話しました。

HIMARIさんは東京都出身。3歳からバイオリンを始め、数々の国際コンクールで1位を取りました。2022年から史上最年少で合格したアメリカのカートイス音楽院で学びながら、国内外の楽団と共に演奏を重ねています。



バイオリニストのHIMARIさん